

テナント引っ越しを手伝い

障害者支援施設利用者ら

七尾YEG、商福連携で

七尾市の障害者支援施設の利用者と職員の計20人は14日、JR七尾駅前の複合商業施設パトリアで、閉店したテナントの引っ越し作業を手伝った。写真。障害者の雇用拡大に取り組み七尾商工会議所青年部（七尾YEG）の呼び掛けで行われた。

多機能型事業所「ぱいんの家」（七尾市袖ヶ江町）と障がい福祉サービス事業所「ゆうの丘」（同市矢田町）の利用者が段ボールの

搬出や陳列棚の解体に汗を流した。参加者は「荷物が重くて大変だったが、作業所とは違って多くの人と関わることができ、うれしかった」と話した。

七尾YEGは昨年、障害者雇用に関する委員会を設立し、勉強会を重ねてきた。同YEGに所属する瀧の川運輸（同市）の瀧川嘉明専務が、パトリアの100円ショップから引っ越しの依頼を受けたことから両施設に仕事を頼んだ。瀧川専務



は「障害者もいろんな形で働けることを知ってもらい、商業と福祉が連携した事業が広がってほしい」と話した。